

令和6年9月10日発行 第163号



社協だより

ふれあいネットワーク



(第37回ふれあいスポーツ大会の様子)

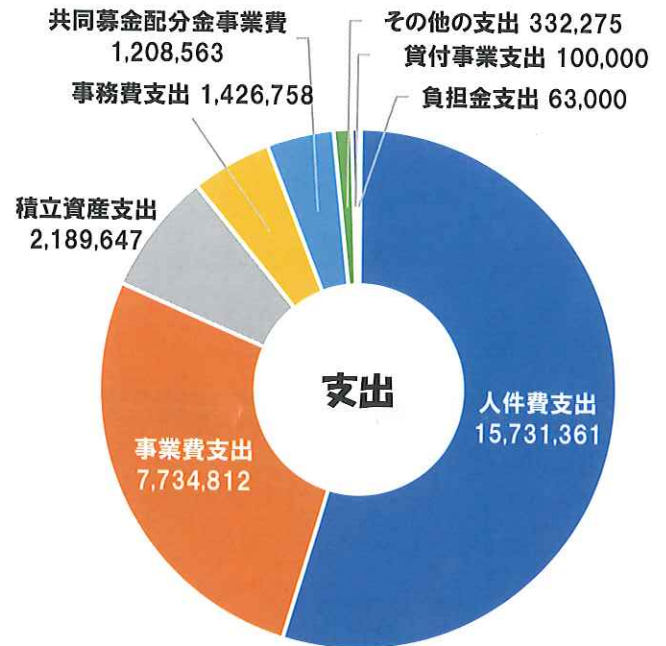
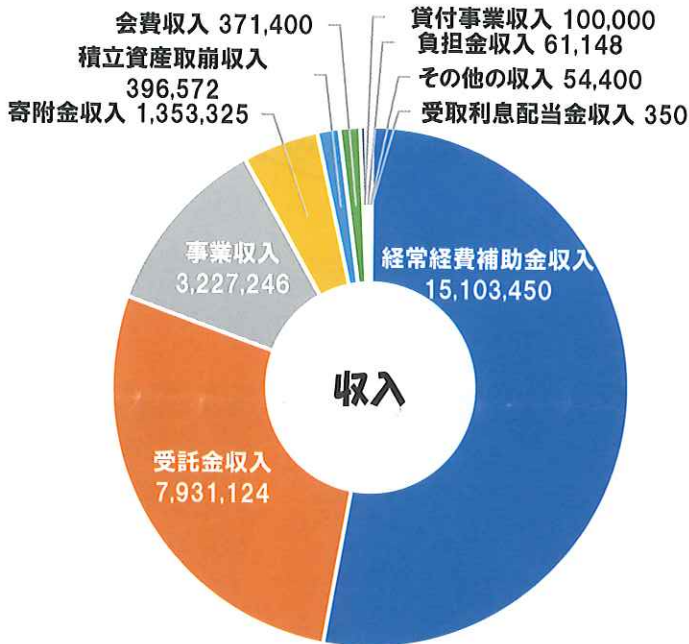
町民のみなさまに支えられ、

社会福祉協議会は事業を展開しております。

この「社協だより」は共同募金の助成金を受けて発行しています。



令和5年度 収支決算（単位：円）



(収入額 28,599,015 円－支出額 28,786,416 円) + 前期末収支資金残高 1,047,042 円

= 当期資金収支差額 859,641 円

令和5年度事業報告

○主要な事業の実施状況

1. 法人全体の運営

- (1) 理事会の開催 (7回)
- (2) 定時評議員会 (1回) 及び評議員会の開催 (3回)
- (3) 定期監査の実施 (4回)

2. 地域の課題を発見・共有し、解決していくための仕組みづくり

- ① 地域福祉助成事業・・・3件申請、3件実施
- ② 日常生活自立支援事業・・・利用者2名に、生活支援員が援助
- ③ ゆぽさぽサロンの運営

3. 一人ひとりの生活 課題を受け止め、包括的に解決していくための支援体制づくり

- ① 車椅子等短期貸出事業の実施・・・・・・・・・・15台貸出14台返却
- ② ゲーム用具・疑似体験セットの実施・・・・・・・・3団体に4回貸出
- ③ 生活援護資金貸付事業（町社協）の実施・・・・・・・・1件1回の実施
- ④ 生活福祉資金貸付事業（道社協）の実施・・・・・・・・2件2回の実施
- ⑤ 安心サポート事業（道社協）の実施・・・・・・・・3件3回の実施
- ⑥ 就労準備支援事業の実施・・・・・・・・・・1名受け入れ継続
- ⑦ 自立支援センター枝幸事務所との連携・・・・・・・・5件9回の実施

4. まちづくりに関わる多様な推進主体とネットワークの強化

① 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

令和5年10月24日に「浜頓別町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」により、実際の災害を想定したシミュレーションを行い、それぞれの役割や連携方法等を経験することによって、資質向上や災害ボランティア受入体制の強化を図ることができた。

道社協主催・宗谷管内ボランティア連絡協議会共催により、総参加者54名のうち浜頓別町民：30名（理事・評議員：14名）

② 災害ボランティア組織連携会議

令和5年10月24日に、地域で災害ボランティアセンターを立ち上げる際に必要となる要素（ヒト・モノ・カネ・情報）を洗い出し、現状抱える課題についての認識を共有し、解決の糸口を見つけることを目的として開催した。

5. 地域づくりを主体的に担う人づくり

- ① 宗谷管内ボランティア連絡協議会総会・宗谷地区ボラネット事業に参加した。
- ② ふれあいスポーツ大会事業

令和5年6月24日に多目的アリーナにおいて、高齢者を中心とした一般市民の対象者31名および福祉関係者43名の74名の参加・協力により実施（理事・評議員12名）

③ ボラ弁交流事業

令和5年6月29日に日の出北・中央、緑ヶ丘北町内会の75歳以上のひとり暮らし高齢者27名に対し、浜頓別高校ボランティア局の生徒が夕食用の弁当とお茶を届けながら、声かけ活動を実施した。

④ 浜頓別高校家庭科部の協力を受け、75歳以上のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、家庭科部の生徒が手作りしたお菓子「蒸しパン」を手渡しして声かけ活動を2回実施した。

1回目： 9月 2日 下頓別・宇曾丹地区 9名

2回目： 10月12日 頓別・斜内地区 9名

⑤ ふれあい昼食交流会事業

令和5年11月18日に、浜頓別第1・2町内会、仁達内・安別・共和自治会の75歳以上の高齢者並びに障がいを持ちながら地域で暮らしている方の孤独感の解消と世代間・地域の方々とのふれあい・交流を深めるとともに、ボランティア活動の普及促進を目的として実施した。

⑥ 除雪ボランティア事業

令和6年1月27日に浜頓別高校ボランティア局員及び担当教諭と保健福祉課市区員の協力により、ひとり暮らし高齢者世帯15件に対して、ベランダの除雪活動を実施した。

⑦ 新入学児童ランドセルカバーの贈呈・・・・・・・・・・20名

⑧ 児童健全育成事業（すこやか子育て応援事業）

・申請件数17件 贈呈回数34回

⑨ 社協広報及びホームページの充実

・社協広報の発行・・・・・・・・5回発行（うち、冊子版1回の発行）

・ホームページの更新・・・・・・・・随時更新

⑩ 福祉団体等の育成・支援

・浜頓別町老人クラブ連合会、ボランティアひまわりの会、浜頓別高校

6. 課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり

① 事務局体制の充実強化・・・専任の事務局長を配置することができた。

② 除雪サービス事業の受託

高齢者等が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことができるように実施をした。

実人員：53人 重機使用による：1,701回 手作業による：68回

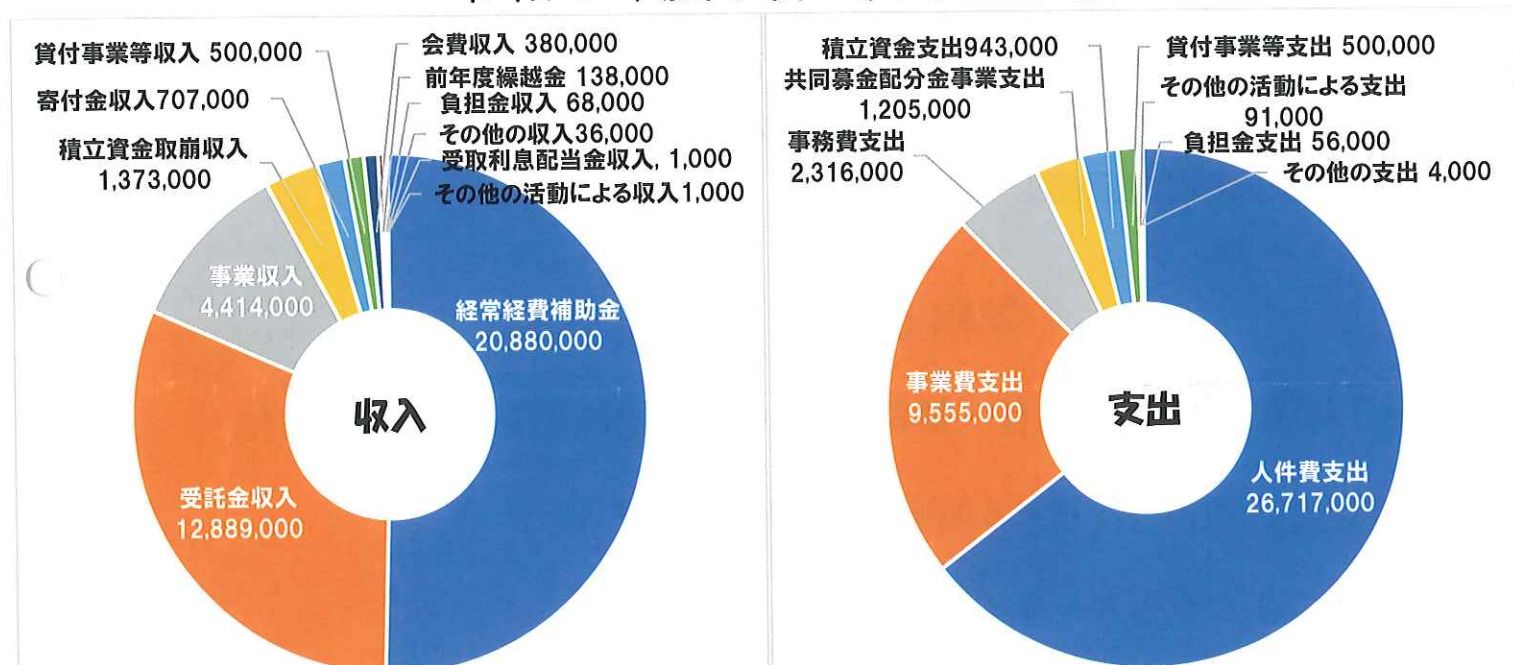
③ 地域活動支援センター「ふらっと」の運営

障害を持ち外出の機会の少ない方に、自立に向けた支援と1人でも多くの方と交流してもらうことを目的としながら、原則毎週月曜日の午後1時30分から2時間程度、調理、畑作業、製作活動を行う一方で、浜頓別町交流館において、野菜即売会を実施した。

④ 高齢者等グループホーム運営事業（町指定管理事業）

令和6年3月31日現在 入居者数5名

令和6年度予算（単位：円）



収支予算額=41,387,000円

令和6年度事業計画

◇現状と課題

浜頓別町社会福祉協議会は、昭和63年の法人化から36年が経過し、この間、町から各種事業及び指定管理の受託や福祉関係団体等の協力を受けて、様々な事業を展開しながら今日に至っています。

誰もが安心して地域で暮らし続けるために、その地域に合った方法で地域福祉活動を展開していく「地域共生社会」の実現には、住民と福祉関係者が共に地域住民の課題を「我が事」として受け止め、解決に導く「地域力」が求められます。地域における生活支援の在り方について研究・研修を重ね、安心して暮らすことのできる地域づくりの取り組みを推進します。

◇基本方針・目標

社会福祉協議会は、「民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織」として社会福祉法に基づき設置され、「制度の狭間」にいる方々の支援が可能な組織として存在しています。

令和6年度は、「第4期浜頓別町地域福祉実践計画」の基本目標である「**地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくり**」の実現に向けて、計画に基づいた具体事業に取り組むとともに、地域住民にとって「信頼される」「必要とされる」社会福祉協議会を目指して参ります。

令和6年度 主な事業

1.問題の発見・共有・解決のための小地域福祉活動の活性化

- ① 町内会に対する福祉活動の普及・促進
- ② 要支援者への見守り活動
- ③ サロン運営事業
- ④ 日常生活自立支援事業の実施

- ⑤ 成年後見・権利擁護事業に対応する体制整備

2.一人ひとりの生活課題を受けとめ包括的に解決していくための支援体制づくり

- ① 心配ごと相談事業の実施及び相談事業の充実
- ② 生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金・特別生活資金の貸付（道社協事業）
- ③ 消費者被害防止（悪質訪問販売・振り込み詐欺等）への対応
- ④ 生活援護資金貸付事業

3.まちづくりにかかわる多様な推進主体とのネットワークの強化

- ① ボランティアセンター運営とネットワークの強化
- ② 災害時におけるネットワークの構築



4.地域づくりを主体的に担う人づくり

- ① 児童健全育成事業（すこやか子育て応援事業）
- ② 高齢者等見守り・声掛け推進事業
- ③ ふれあいスポーツ大会及びふれあい昼食交流事業の実施
- ④ 福祉団体の育成・支援

5.課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり

- ① 社協会員の全戸加入の促進
- ② 高齢者等グループホームの運営（町指定管理事業）
- ③ 地域活動支援センター「ふらっと」の運営（町委託事業）
- ④ 除雪サービス事業（高齢者在宅生活支援事業）の実施（町委託事業）
- ⑤ 移送サービス事業・福祉有償運送事業の実施（高齢者在宅生活支援事業）の実施

令和6年度 役員体制

会 長	横山 豊広	評議員	新川 隆之	高松 義喜
副会長	丹羽 幹典	鈴木 芳博	阿部 あや子	武田 昭
理 事	今井 代志子	小川 優子	只野 千景	榎本 聡
	菊地 ともえ	佐々木 浪子	大西 禮子	西野 惇
	山田 元子	杉本 直啓	大西 加代子	橋本 英晃
	寺井 春雄	佐藤 秀行（新）	杉目 文子	森 宏美
監 事	生田 初雄	千葉 政廣	島谷 一美	米山 美千代
			小山内 順一	伊藤 環（新）

杜協の主な事業を紹介します

第37回 ふれあいスポーツ大会



令和6年6月22日(土)9時30分より、浜頓別町多目的アリーナにて「ふれあいスポーツ大会」が開催されました。町民すべての方が参加できる交流の場として、今年で第37回目を迎えました。お手伝いの方を含め100名ほどが集まり、誰もが参加しやすい競技をして昼食をみんなで食べ、交流を深めました。参加していただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました！

役場庁舎前花植え



令和6年6月6日、ボランティア団体ひまわりの会、民生委員、一般参加者と一緒に役場庁舎前の花壇（役場庁舎側）にマリーゴールド約600株を丁寧に植えました。

見守り声掛け事業



令和6年6月26日、浜頓別高校ボランティア局のみなさんにご協力いただき、6～8町内の75歳以上の在宅高齢者にお弁当を届けながら、声掛け活動を行いました。とても喜んでくださり、笑顔でお弁当を受け取っていました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

ゆぽさぽサロン



毎月第2・第4水曜日の10時～12時、交流館にて「ゆぽさぽサロン」を開催しています。地域の誰もが気軽に集い交流ができる場です。手芸や塗り絵をしたり、お茶を飲みながらおしゃべりをしたりと、参加者が自由に活動することができますので、お気軽にご参加ください。参加料は100円です。

地域活動支援センター ふらっと

「ふらっと」とは障がいをもった方々が、ふらっと気軽に来れる集いの場です。主に調理・製作・軽スポーツ・施設見学・野菜作りを行い、ボランティアさんに協力していただきながら、みんなで楽しく活動をしています。

一緒に活動する仲間、ボランティアさんを募集しています。



車椅子・疑似体験セット・行事用テント・ゲーム用具の無料貸出

外出や入退院または通院等で、一時的に車椅子を必要とされている方、イベントやレクリエーション等で行事用テントやゲーム用具（ポッチャ・スカットボール・カローリング・輪投げ等）、疑似体験セット、の無料貸し出しを行っております。ご希望の方は社会福祉協議会までご連絡ください。



寄付金付きピンバッジ

浜頓別町共同募金委員会では、多くの方に「赤い羽共同募金」への関心を持っていただき、気軽に寄付のご協力をいただけるように、今年もご当地キャラクターと赤い羽根のコラボによるオリジナルピンバッジを作成しています。

今年度は、浜頓別高等学校1年生、小笠原 楓さんの「可愛い白鳥のデザイン」が採用され、当町のマスコットキャラクター・スワットンが白鳥に囲まれながら楽しく戯れている様子を描いた作品です。

浜頓別町社会福祉協議会・(株)ニッコー・はまとんべつ温泉ウイング・クッチャロ湖畔売店・浜頓別町交流館にて取り扱っています。1個500円で製作費を除いた金額が寄付金となり、浜頓別町の来年度以降の社会福祉事業に活用されますので、寄付にご協力お願い致します。



地域の活動を紹介します

「浜頓別町老人クラブ連合会」



令和6年6月7日（金）に豊富町多目的運動場にて宗谷地区老人クラブ連合会ゲートボール大会が開催され、浜頓別町老人クラブ連合会から5名の選手が参加しました。



令和6年6月18日（火）に中頓別寿公園パークゴルフ場にて宗谷地区老人クラブ連合会パークゴルフ大会が開催され、浜頓別町老人クラブ連合会から8名の選手が参加し、団体の部で3位に入賞しました。



NEW 社協職員紹介



渋谷 剛

福祉有償運送事業・移送サービス事業の運転業務をしています。皆様に安心してご利用いただけるよう日々安全運転を心がけてまいりますので、よろしくお願い致します。



石崎 裕二

本年度から社協で働いております。福祉有償運送事業・移送サービス事業の運転業務、温泉水運搬の運転業務を担当させていただいております。よろしくお願い致します。



佐川 宏美

本年度から社協で働いている佐川と申します。事務からイベントまで様々な業務を担当しています。

至らぬ点多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。